


技術料の一例

— 心臓血管外科手術 —

④ **冠動脈バイパス術 + 収縮性心膜炎手術** (計78,000点)
手術時間: 15時間59分

④ **全身麻酔** (46,300点)
麻酔時間: 17時間44分



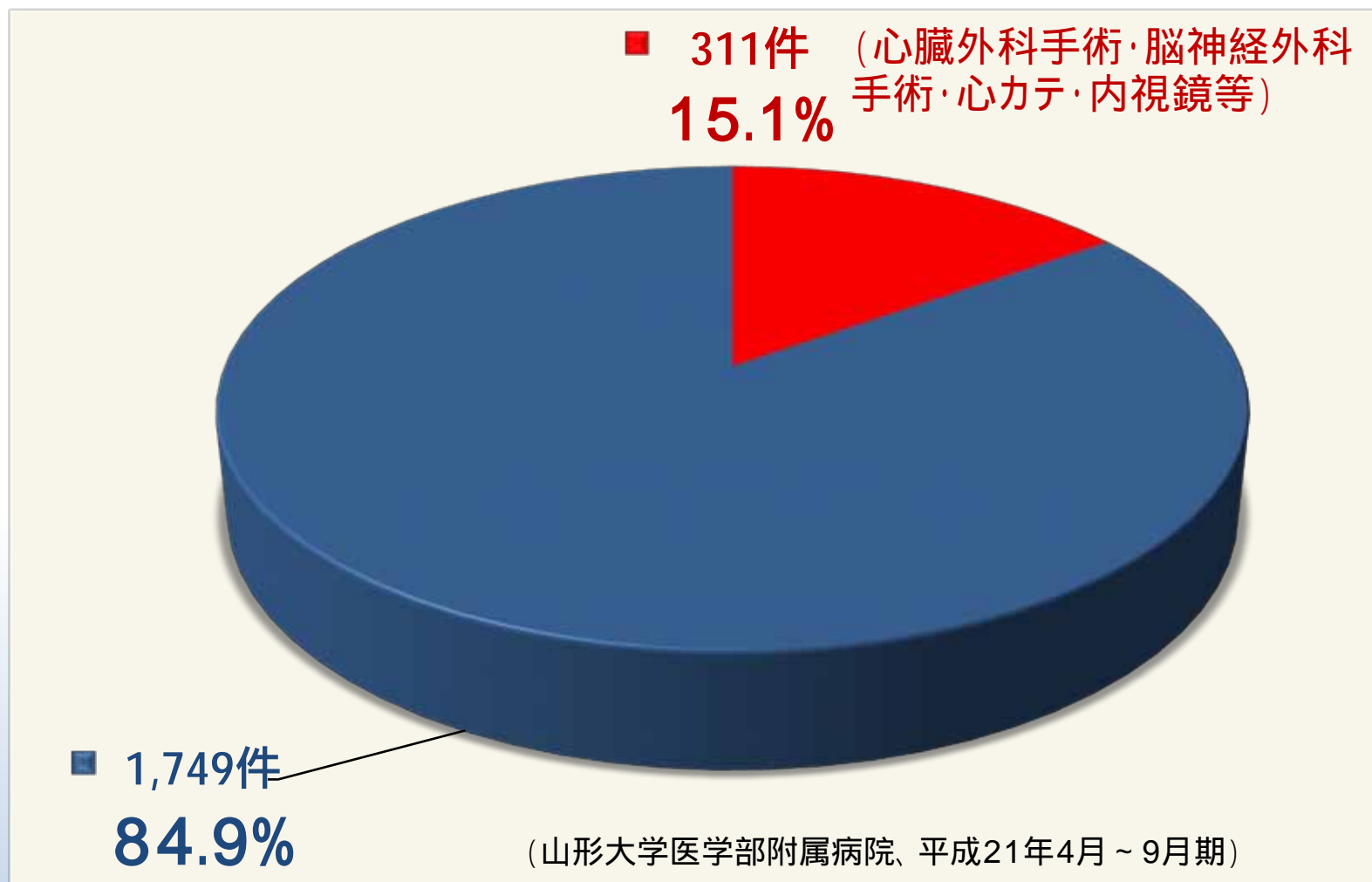
従事医師	技術料
執刀医	32,500円
第一助手	26,000円
第二助手	19,500円

78,000円を按分

従事医師	技術料
麻酔指導医	19,300円
第一麻酔医	15,400円
第二麻酔医	11,600円

46,300円を按分

時間外手術・高度技術料の対象



技術料の平均額

全対象手術

- ・ 1件あたり**4万9,740円**
(1,629万4,000円 / 311件)

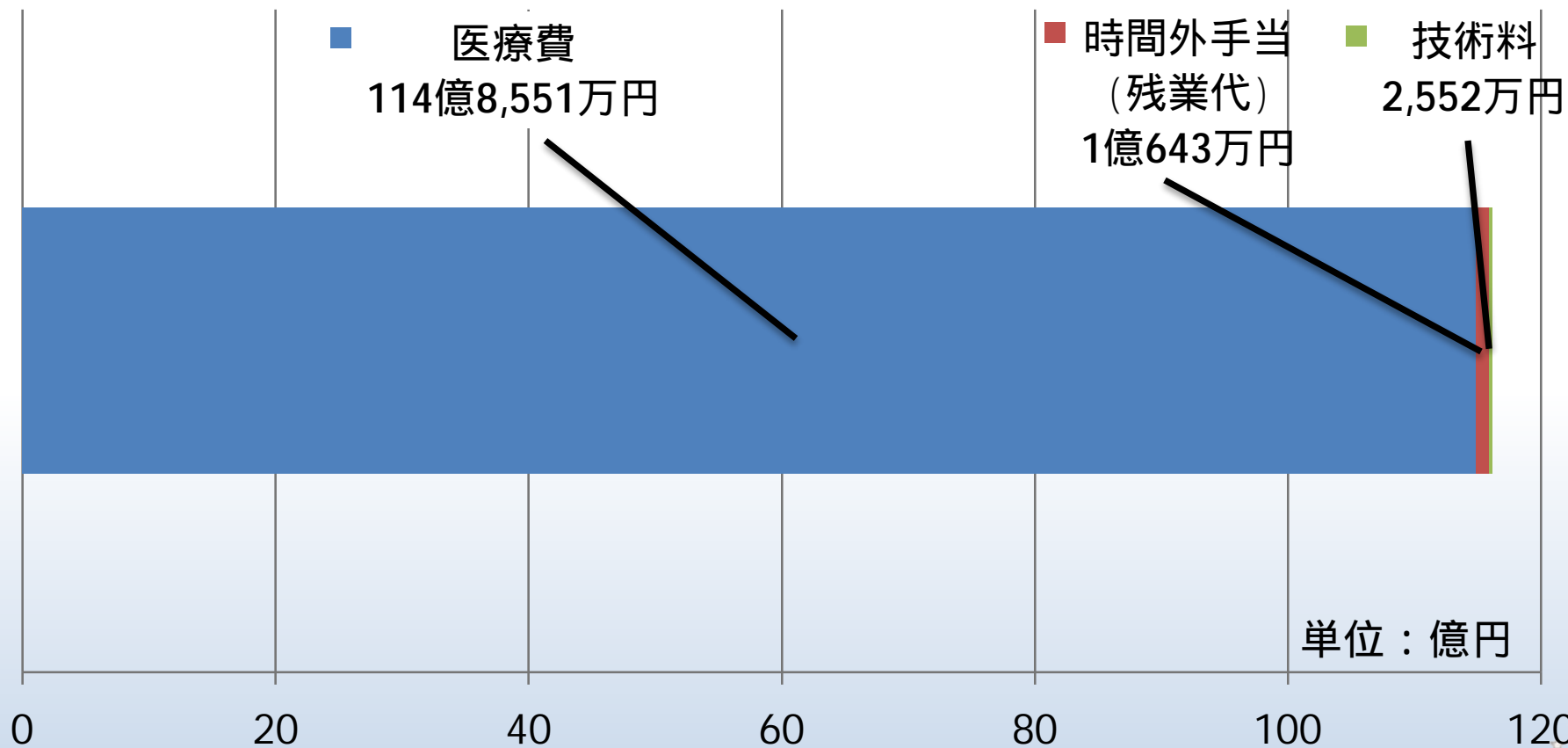
35,000点以上の手術

- ・ 1件あたり**6万7,545円**
(1,546万7,700円 / 229件)

対象となる全手術(35,000点以上の手術 + 休日・時間外手術)の
1件あたりの平均技術料
(山形大学医学部附属病院、平成21年4月～9月期)

大学病院の医療費に対する 残業代+技術料の割合

2008年度病院決算



特定機能病院での労基署是正勧告

群馬大、残業代不払い

200万円 是正勧告受け支給

群馬大学（前編）が昨年11月、職員約300人分の残業代約200万円を未払いしていたことが、前編労働基準監督署の現地調査で判明し、12月に二回して払ったことがわかった。群馬大によると、国立大学は国庫一斉に国立大学法人化後、職員は国庫公務員でなくなった。各県の国立大学法人の職員は不払いが標準的な背景には、労働基準法が適用されるようになったにもかかわらず、国や県が適用される中で、人件費の増大は避けられず、職員も不満を抱いている。

群馬大人事課によると、残業する条件、職員は上乗せされた残業代を、4万円で「国庫外務費」を「国庫」に振り替えて出すことになっているが、法外な残業代を請求する職員は、申請してものを請求する事例で、全職員が請求している。国や県が適用される中で、人件費の増大は避けられず、職員も不満を抱いている。

東北大病院 残業代不払い

労基署 医師260人分の550万円 指摘

東北大病院（仙台市）が医師の残業代を三十三時間程度で打ち切った。目安の三十三時間は労働時間を超えて、医師は月一で打ち切られた。使った残業代は約550万円に上ることがわかった。残業代が支払われなかった医師は約二百六十人、〇七年度は百四十七人、不払い額が二千万円を超えた。医師も不満を抱いている。

東北大病院（仙台市）が医師の残業代を三十三時間程度で打ち切った。目安の三十三時間は労働時間を超えて、医師は月一で打ち切られた。使った残業代は約550万円に上ることがわかった。残業代が支払われなかった医師は約二百六十人、〇七年度は百四十七人、不払い額が二千万円を超えた。医師も不満を抱いている。

長崎大も残業代未払い

計6700万円、労基署勧告

長崎大学（長崎市）が昨年、長崎労働基準監督署から二度にわたって職員に対する残業代未払い（サビズ残業）の是正勧告を受けていたことがわかった。未払い額は計約6700万円。既に本人への支払いを済ませ、超過勤務の短縮や労働時間管理徹底のための取り組みを進めているという。

同大によると、勧告を受けたのは05年2月と11月の勧告後に新たな管理規則を作り、仕事の多い職場の人員を増やすなどの対策をとったが、浸透していなかったという。崎山総理事は「法人化前の慣例が続き、職員の意識が変わっていきなかった。3回目が決して起きないよう管理を徹底したい」としている。

法人化で業務増加 交付金と職員は減

職員も、一人当たりの残業代は減った。法人化後、業務が増え、職員も一人当たりの残業代は減った。法人化後、業務が増え、職員も一人当たりの残業代は減った。法人化後、業務が増え、職員も一人当たりの残業代は減った。

職員は申告が勤務実態と合わず、〇七年八月二日の約三十八万円が不払いと判断されたという。大学は〇八年三月に支払った。

- 右) 『朝日新聞』 2008年9月26日
- 中) 『河北新報』 2009年1月 8日
- 左) 『朝日新聞』 2006年4月25日

